

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉とは何かについて、自分の言葉で説明することができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉に関する様々な社会的課題について、その現状や問題点について、自身の経験や知識を元に思考、類推することができる。 福祉に関する様々な社会的課題について、その解決に至る道のりを論理的に思考することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉に関する様々な社会的課題について、それらの困難に直面している人々のことを想像することができる。 福祉に関する様々な社会的課題について、それらの課題を解決し、社会的に弱い立場にいる人々に手を差し伸べることができる。 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 福祉に関連する様々な社会課題について、自分の言葉で説明することができる 福祉に関する様々な社会課題に取り組んでいる団体や組織について、その課現状や課題について語るすることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 現在の社会の様々な場面に存在する課題を知り、その影響や根本的な原因を考察することができる。 福祉的な見地から、様々な社会的課題を抱える人々について、必要かつ適切な支援を判断することができる。 データや資料を適切に使用して、自分の意見を表現することができる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 福祉に関する様々な社会的課題について、社会的に弱い立場にいる人々に必要な支援を行おうとすることができる。 社会的に弱い立場にいる人々に必要な支援を行うために、社会の仕組みを変えていくことを考えることができる。 	

授業日	10/1(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ・各班が設定した課題について、その課題の現状や解決策、さらに解決策に残る課題について包括的に説明することができる ・課題の解決策を実行する上で留意する点等について、実際に活動している団体にインタビューする準備を整える。		
時間 授業内容	15 分	これまでの振り返りと今後の授業スケジュールについての説明	
	15 分	前回の課題とそれについてフィードバックした内容について各班で確認	
	10 分	各班が設定した課題とその解決策、さらに実際に活動している団体への質問等をまとめたワークシートの説明	
	40 分	ワークシートの作成	
	10 分	次回以降の授業に関する予告	
評価方法	今回は評価を行わず、中間試験後に行う各グループ発表で評価を行う		
宿題指示	授業で行った各課題の現状や解決策、さらに実際に活動している団体への質問等をまとめたワークシートを 10 月 6 日(日)までに完成させる		